

<毎月決算型>

第156期末 (2026年7月21日)	
基準価額	15,909円
純資産総額	59億円
第151期～第156期 (2026年1月21日～2026年7月21日)	
騰落率	16.0%
分配金合計	300円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

<年2回決算型>

第26期末 (2026年7月21日)	
基準価額	35,287円
純資産総額	35億円
騰落率	16.0%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ

世界高配当株ファンド

(毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2026年1月21日～2026年7月21日

<毎月決算型>

第151期 (決算日2026年2月20日) 第154期 (決算日2026年5月20日)
第152期 (決算日2026年3月23日) 第155期 (決算日2026年6月22日)
第153期 (決算日2026年4月20日) 第156期 (決算日2026年7月21日)

<年2回決算型>

第26期 (決算日2026年7月21日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型) / (年2回決算型)」は、2026年7月21日に決算を行いました。

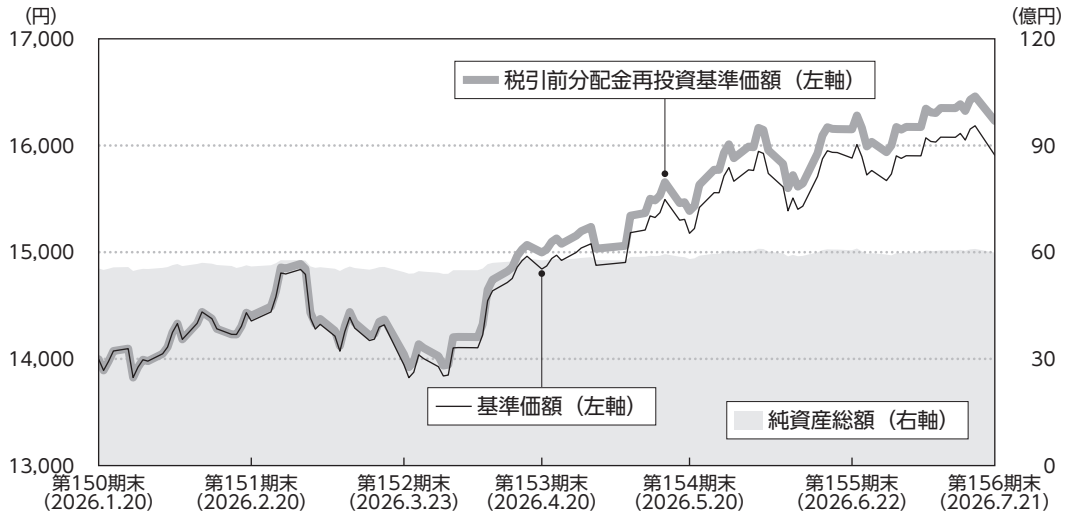
各ファンドは、「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス」への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート(不動産投資信託)等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2026年1月21日～2026年7月21日

基準価額等の推移



第151期首	13,997円	既払分配金	300円
第156期末	15,909円	騰落率（分配金再投資ベース）	16.0%

（注1）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注3）当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・当作成期初から2月下旬にかけて、デンマーク自治領であるグリーンランドの領有権を巡る米欧対立など地政学リスクの高まりや、人工知能（A I）関連のインフラ需要などによる銀や銅などの商品市況の上昇、米巨大テクノロジー企業による2026年の設備投資が大幅に増加する見込みとなり、その恩恵を受ける半導体関連銘柄等が物色される展開となったことなどから保有銘柄の株価が上昇したこと
- ・4月上旬から5月下旬にかけて、米国とイランによる和平合意への期待感に加えて、A I 関連への旺盛な投資意欲や好業績を背景にA I インフラ関連銘柄が物色され、保有銘柄の株価が上昇したこと
- ・当作成期を通じて高市政権による財政悪化懸念や米利下げ見通しの後退を背景に、投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどから主要通貨に対しておおむね円安方向へ推移したこと

<下落要因>

- ・3月上旬から下旬にかけて、米国・イスラエルとイランの軍事衝突により原油価格が急騰したことで、インフレ圧力の高まりや景気減速への警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まり株価が下落したこと

1 万口当たりの費用明細

項目	第151期～第156期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	92円	0.616%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は14,939円です。
(投信会社)	(25)	(0.164)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(65)	(0.438)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.013)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.002	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(0)	(0.002)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	92	0.618	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

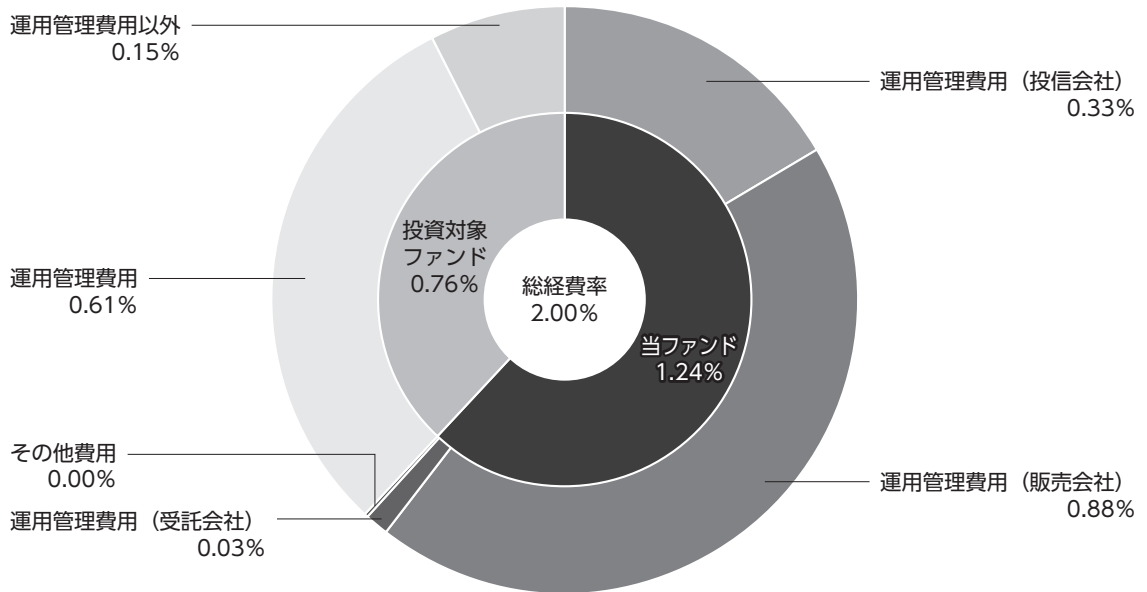
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.00%**です。



総経費率（①＋②＋③）	2.00%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.61%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

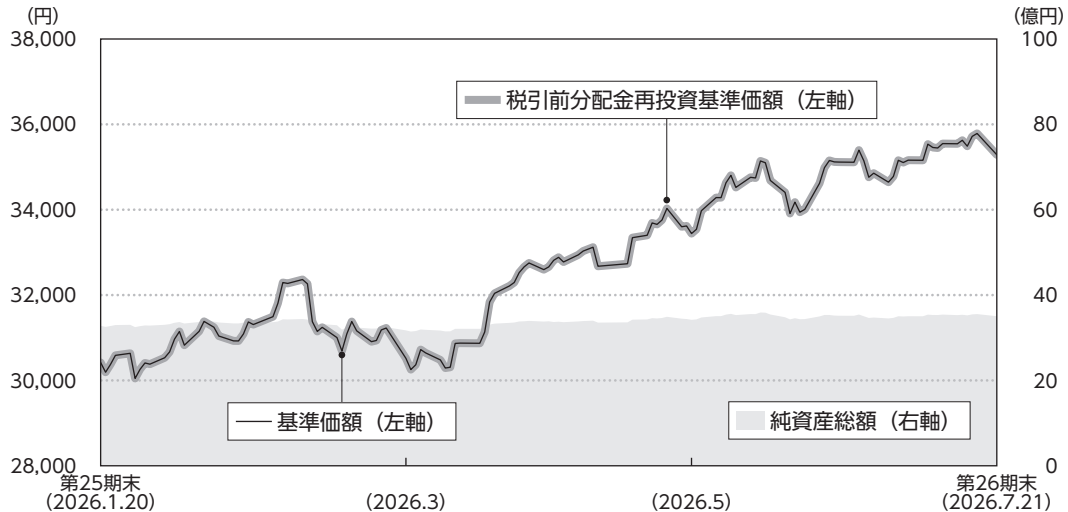
（注4）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第26期首	30,420円	既払分配金	0円
第26期末	35,287円	騰落率 (分配金再投資ベース)	16.0%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 期初から2月下旬にかけて、デンマーク自治領であるグリーンランドの領有権を巡る米欧対立など地政学リスクの高まりや、人工知能（AI）関連のインフラ需要などによる銀や銅などの商品市況の上昇、米巨大テクノロジー企業による2026年の設備投資が大幅に増加する見込みとなり、その恩恵を受ける半導体関連銘柄等が物色される展開となったことなどから保有銘柄の株価が上昇したこと
- ・ 4月上旬から5月下旬にかけて、米国とイランによる和平合意への期待感に加えて、AI関連への旺盛な投資意欲や好業績を背景にAIインフラ関連銘柄が物色され、保有銘柄の株価が上昇したこと
- ・ 期を通じて高市政権による財政悪化懸念や米利下げ見通しの後退を背景に、投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどから主要通貨に対しておおむね円安方向へ推移したこと

<下落要因>

- ・ 3月上旬から下旬にかけて、米国・イスラエルとイランの軍事衝突により原油価格が急騰したことで、インフレ圧力の高まりや景気減速への警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まり株価が下落したこと

1 万口当たりの費用明細

項目	第26期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	201円	0.614%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は32,781円です。
(投信会社)	(54)	(0.164)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(143)	(0.437)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(4)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.003	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(1)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	202	0.617	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

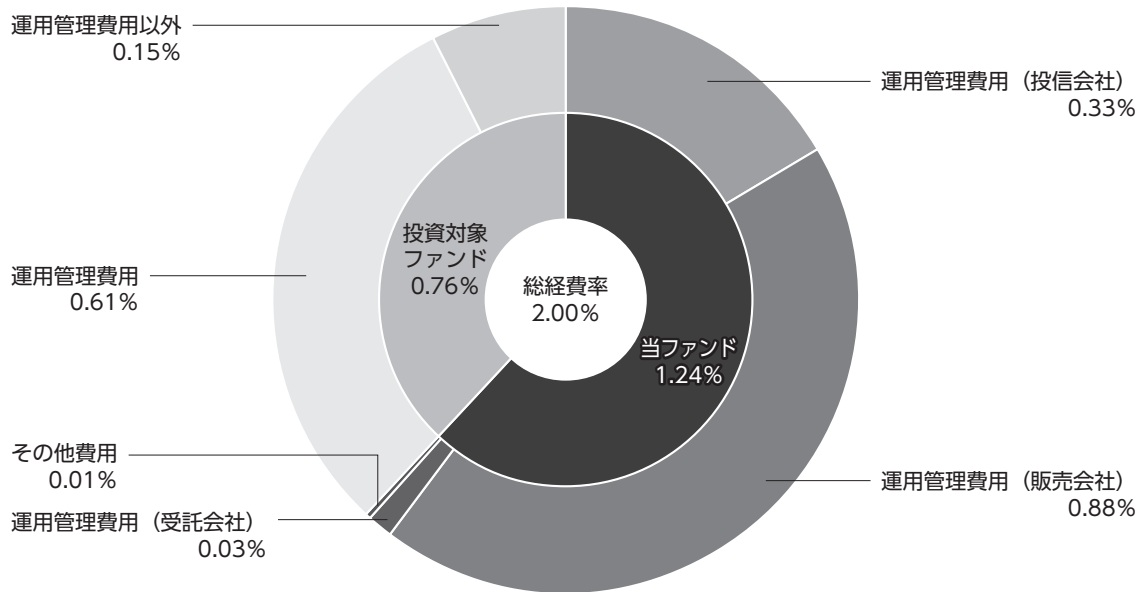
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.00%**です。



総経費率（①+②+③）	2.00%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.61%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

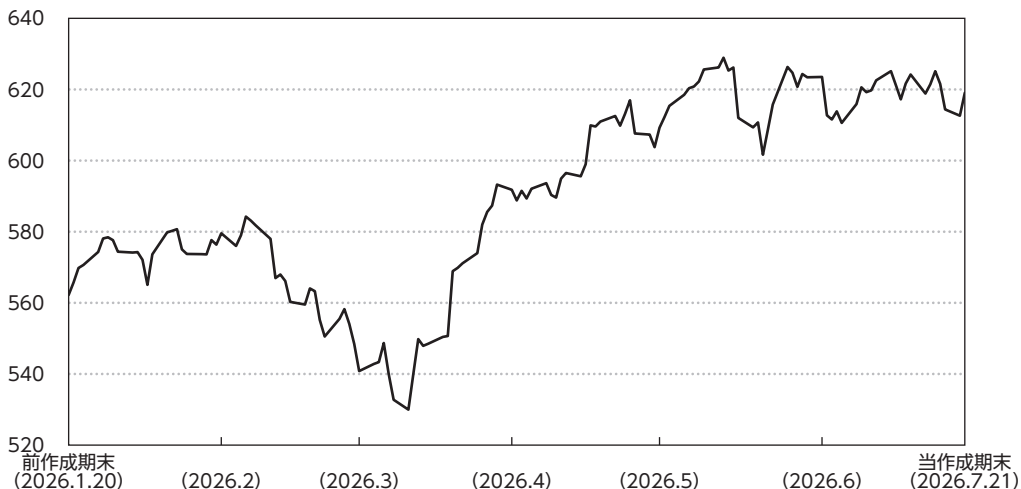
（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

株式市況

【MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）の推移】



(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場は当作成期を通じて見ると上昇しました。

当作成期初以降、デンマーク自治領であるグリーンランドの領有権を巡る米欧対立など地政学リスクの高まりや、AI関連のインフラ需要などによる銀や銅などの商品市況の上昇が押し上げ要因となりました。しかし、米国・イスラエルとイランの軍事衝突により原油価格が急騰したことで、インフレ圧力の高まりや景気減速への警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まり株価は下落しました。4月以降は米国とイランによる和平合意への期待感に加えて、AI関連への旺盛な投資意欲や好業績を背景にAIインフラ関連銘柄が物色され株価は再び上昇基調に転じました。当作成期末にかけては、イーロン・マスク氏が率いる米宇宙会社スペースXによる過去最大規模の新規株式公開（IPO）に加えて、AI・データセンター関連銘柄への高値警戒感やAIモデル開発企業の資金調達懸念、米国とイランによる和平交渉の動向に左右される原油価格、米国の利上げ見通しの高まりなど多くの材料が錯綜（さくそう）し、株価は値動きが荒くまちまちの推移となりました。

ポートフォリオ

■各ファンド

当作成期も外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

■NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス

*現地における当作成期末の前営業日基準についての説明です。

<個別銘柄>

主に日本を含む各国の株式およびリート等に分散投資し、予想配当利回り、配当政策、流動性および個別企業分析・株価評価等を勘案してポートフォリオを構築しました。

当作成期末においても、配当利回りが相対的に高い銘柄を保有しています。半導体専門 I C ファンドリーメーカー（半導体チップの製造を専門に行う企業）、東南アジア最大の事業規模を持つ総合金融機関、資源開発企業、ガス・パイプライン運営などを手がけるエネルギー・インフラ企業、テクノロジーインフラストラクチャー企業など、インフレ環境下で価格決定力があり、優れた経営戦略を有し、強固なビジネス基盤や内部の自助努力により、今後も高い配当が期待できるキャッシュフロー創出力に優れたものが多く、今後の利益成長も期待できバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）も魅力的な水準にあると判断される企業を中心に上位に保有しています。

<国・地域別配分>

当作成期末では組入比率の高い順にアメリカ（22.6%）、台湾（12.3%）、オーストラリア（8.1%）としています。

（注1）国、地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

（注2）比率は対組入株式等評価額比です。

<業種配分>

当作成期末では、事業の選択と集中に加えてデジタル化に伴うコスト構造の継続的な改善などにより業績成長が期待できる銀行などの「金融」、A I を主軸とした産業革命への期待感やデジタル社会が進む中で強い需要が継続しているクラウド・データセンター向けなどの市場成長を背景に堅調な需要が見込まれている半導体などの関連企業を中心とした「情報技術」、景気改善による受注改善が見込めるインフラ関連企業などの「資本財・サービス」の組入比率が高いポートフォリオとしています。

（注）業種はG I C S 分類（セクター）によるものです。なお、G I C S に関する知的財産所有権は S & P および MSCI Inc. に帰属します。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

■毎月決算型

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

■年2回決算型

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■毎月決算型

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第151期 2026年1月21日 ～ 2026年2月20日	第152期 2026年2月21日 ～ 2026年3月23日	第153期 2026年3月24日 ～ 2026年4月20日	第154期 2026年4月21日 ～ 2026年5月20日	第155期 2026年5月21日 ～ 2026年6月22日	第156期 2026年6月23日 ～ 2026年7月21日
当期分配金（税引前）	50円	50円	50円	50円	50円	50円
対基準価額比率	0.35%	0.36%	0.34%	0.33%	0.31%	0.31%
当期の収益	50円	－	50円	50円	50円	50円
当期の収益以外	－	50円	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	6,194円	6,144円	6,681円	7,017円	7,721円	7,748円

■年2回決算型

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2026年1月21日～2026年7月21日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	26,104円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

今後も、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス

世界的に不透明な政治情勢が続いており、株式市場においても神経質な展開が続く中で、高配当銘柄は相対的に割安感のあるバリュエーションなどから、投資対象として比較的良好な位置にあると判断しています。当ファンドで保有している高配当銘柄は強固なビジネス基盤や内部の自助努力により今後も高い配当が期待できるキャッシュフロー創出力に優れ、バリュエーションも魅力的な水準にあるものが多いと考えています。引き続き、適切な財務レバレッジ（借入金などを利用して多くの資金を事業に投下すること）により、着実にキャッシュフローを創出し配当支払いをしっかりとカバーしつつ、今後の業績・配当成長と利回りのバランスをとれた銘柄を選別していくことが重要であると考えています。

このような環境のもと、今後の運用においては引き続き、先進国株式市場においては確かな経営執行能力を持つ企業への厳選投資が必要であると考えています。一方、新興国株式市場においては魅力ある成長性とバリュエーションを持つ企業への選別投資が必要であると考えており、そのためには業績の裏付けがある個別企業の成長性や、豊富な手元流動性（すぐに支払いにあてることのできる資産）の有効活用など、企業の資本政策に対する考え方に注目すべきであると考えています。

当ファンドでは特に高配当銘柄に着目し投資銘柄を厳選しています。しかし、単純に配当利回り水準のみに注目すると、成長力が乏しく、万年割安な銘柄（株価上昇が見込めない銘柄）を選択する懸念があります。そのため、個別企業の徹底した調査・分析を実施し、企業の資本政策を見極め、配当利回りが高いだけでなく、成長性が見込め、かつ、株価の上昇が期待できる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。

今後も個別企業とのミーティングに力点を置き、企業の配当政策や成長戦略を把握した上で、事業の収益性と安定性のバランス、今後の利益成長も見込める企業を厳選し、投資を行う方針です。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第156期末 2026年7月21日
NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス	98.2%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

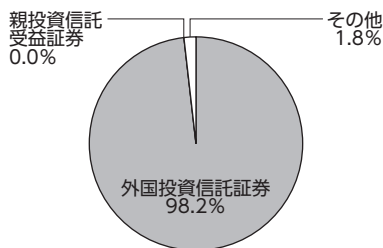
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

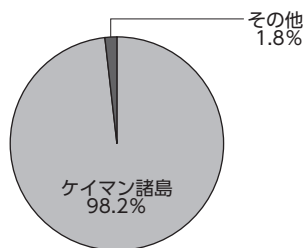
項目	第151期末 2026年2月20日	第152期末 2026年3月23日	第153期末 2026年4月20日	第154期末 2026年5月20日	第155期末 2026年6月22日	第156期末 2026年7月21日
純資産総額	5,598,670,288円	5,439,666,643円	5,771,524,464円	5,807,049,224円	6,053,458,163円	5,987,382,617円
受益権総口数	3,900,178,733口	3,901,154,195口	3,888,696,957口	3,826,177,853口	3,811,487,562口	3,763,498,975口
1万口当たり基準価額	14,355円	13,944円	14,842円	15,177円	15,882円	15,909円

(注) 当作成期間（第151期～第156期）中における追加設定元本額は54,237,199円、同解約元本額は248,762,957円です。

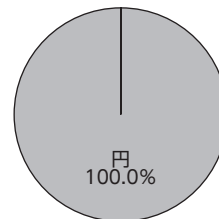
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2026年7月21日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ世界高配当株ファンド（年2回決算型）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第26期末 2026年7月21日
NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス	98.0%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

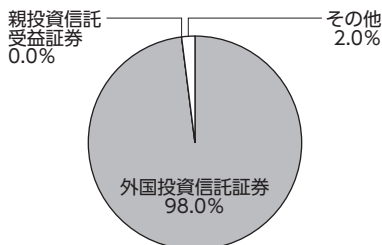
（注2）組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

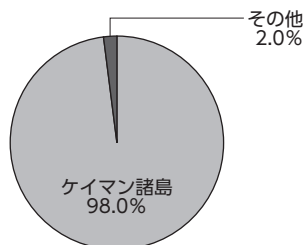
項目	第26期末 2026年7月21日
純資産総額	3,504,402,381円
受益権総口数	993,120,303口
1万口当たり基準価額	35,287円

（注）当期間中における追加設定元本額は4,812,973円、同解約元本額は89,587,984円です。

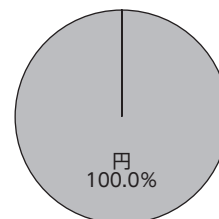
■資産別配分



■国別配分



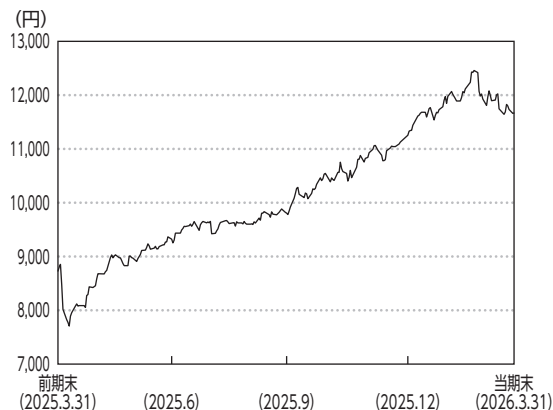
■通貨別配分



（注）資産別・国別・通貨別配分は、2026年7月21日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラスの概要

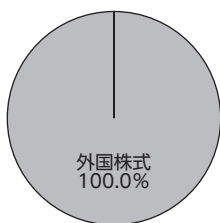
■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



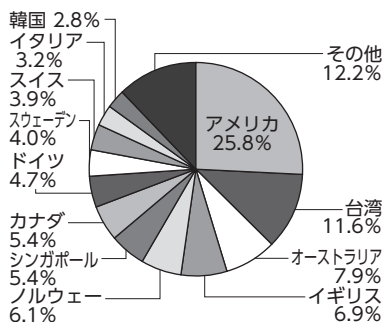
■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANU	台湾ドル	6.3%
DBS GROUP HOLDINGS LTD	シンガポール・ドル	5.4%
WILLIAMS COS INC	米ドル	4.5%
BHP GROUP LTD	オーストラリア・ドル	4.2%
NATIONAL GRID PLC	イギリス・ポンド	3.9%
BROADCOM INC	米ドル	3.7%
MANULIFE FINANCIAL CORP	カナダ・ドル	3.5%
DNB BANK ASA	ノルウェー・クローネ	3.5%
EOG RESOURCES INC	米ドル	3.3%
VOLVO AB-B SHS	スウェーデン・クローナ	3.1%
組入銘柄数		46

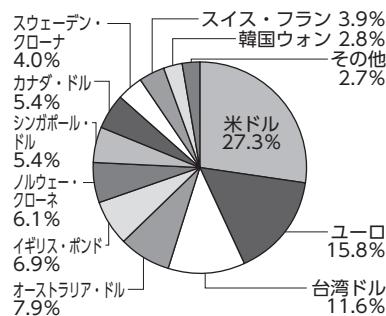
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

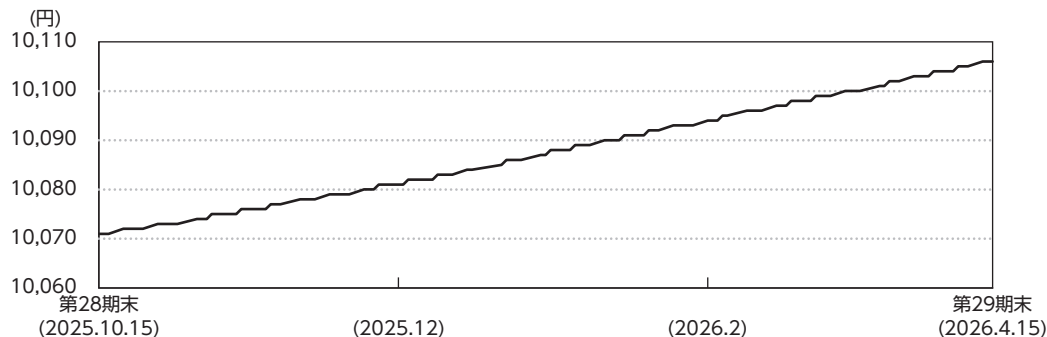
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2026年3月31日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券のポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 1万口当たりの費用明細は、入手が困難であるため記載していません。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照下さい。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■基準価額の推移



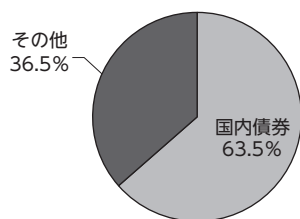
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
第1回 東京都公募公債 (東京ソーシャルボンド (5年))	円	10.4%
令和3年度第6回 埼玉県公募公債 (5年)	円	10.4
平成28年度第4回 京都市公募公債	円	6.2
第760回 東京都公募公債	円	6.0
平成28年度第1回 静岡市公募公債	円	6.0
第160回 共同発行市場公募地方債	円	5.7
第291回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	3.8
第158回 共同発行市場公募地方債	円	3.8
第756回 東京都公募公債	円	3.8
平成28年度第5回 愛知県公募公債	円	3.8
組入銘柄数	11	

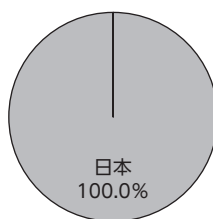
■1万口当たりの費用明細

当期 (2025年10月16日～2026年4月15日) における費用はありません。

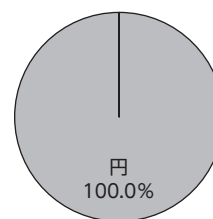
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日 (2026年4月15日現在) のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円	%	%	百万円
127期(2024年 2 月20日)	10,370	50	3.7	16,670	98.2	0.0	5,205
128期(2024年 3 月21日)	10,671	50	3.4	17,021	98.0	0.0	5,296
129期(2024年 4 月22日)	10,536	50	△ 0.8	16,936	98.3	0.0	5,115
130期(2024年 5 月20日)	11,248	50	7.2	17,698	98.0	0.0	5,465
131期(2024年 6 月20日)	11,489	50	2.6	17,989	98.1	0.0	5,476
132期(2024年 7 月22日)	11,446	50	0.1	17,996	98.0	0.0	5,444
133期(2024年 8 月20日)	10,837	50	△ 4.9	17,437	98.0	0.0	5,099
134期(2024年 9 月20日)	10,657	50	△ 1.2	17,307	98.0	0.0	5,007
135期(2024年10月21日)	11,326	50	6.7	18,026	98.4	0.0	5,280
136期(2024年11月20日)	11,255	50	△ 0.2	18,005	98.0	0.0	5,235
137期(2024年12月20日)	11,348	50	1.3	18,148	97.6	0.0	5,242
138期(2025年 1 月20日)	11,555	50	2.3	18,405	98.3	0.0	5,330
139期(2025年 2 月20日)	11,530	50	0.2	18,430	98.0	0.0	5,309
140期(2025年 3 月21日)	11,372	50	△ 0.9	18,322	98.1	0.0	5,181
141期(2025年 4 月21日)	10,209	50	△ 9.8	17,209	98.3	0.0	4,629
142期(2025年 5 月20日)	11,255	50	10.7	18,305	98.1	0.0	5,067
143期(2025年 6 月20日)	11,395	50	1.7	18,495	98.0	0.0	5,087
144期(2025年 7 月22日)	11,953	50	5.3	19,103	98.0	0.0	5,306
145期(2025年 8 月20日)	11,868	50	△ 0.3	19,068	98.1	0.0	5,130
146期(2025年 9 月22日)	11,995	50	1.5	19,245	98.0	0.0	5,107
147期(2025年10月20日)	12,280	50	2.8	19,580	97.8	0.0	5,071
148期(2025年11月20日)	12,696	50	3.8	20,046	98.1	0.0	5,118
149期(2025年12月22日)	13,218	50	4.5	20,618	97.6	0.0	5,241
150期(2026年 1 月20日)	13,997	50	6.3	21,447	98.4	0.0	5,540
151期(2026年 2 月20日)	14,355	50	2.9	21,855	98.1	0.0	5,598
152期(2026年 3 月23日)	13,944	50	△ 2.5	21,494	98.0	0.0	5,439
153期(2026年 4 月20日)	14,842	50	6.8	22,442	98.3	0.0	5,771
154期(2026年 5 月20日)	15,177	50	2.6	22,827	98.3	0.0	5,807
155期(2026年 6 月22日)	15,882	50	5.0	23,582	98.0	0.0	6,053
156期(2026年 7 月21日)	15,909	50	0.5	23,659	98.2	0.0	5,987

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注4) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

(注5) 当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

年月日		基準価額	騰落率	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率
第 151 期	(期首) 2026年1月20日	円 13,997	% －	% 98.4	% 0.0
	1月末	13,979	△0.1	98.0	0.0
	(期末) 2026年2月20日	14,405	2.9	98.1	0.0
第 152 期	(期首) 2026年2月20日	14,355	－	98.1	0.0
	2月末	14,796	3.1	98.2	0.0
	(期末) 2026年3月23日	13,994	△2.5	98.0	0.0
第 153 期	(期首) 2026年3月23日	13,944	－	98.0	0.0
	3月末	13,840	△0.7	97.6	0.0
	(期末) 2026年4月20日	14,892	6.8	98.3	0.0
第 154 期	(期首) 2026年4月20日	14,842	－	98.3	0.0
	4月末	15,079	1.6	97.9	0.0
	(期末) 2026年5月20日	15,227	2.6	98.3	0.0
第 155 期	(期首) 2026年5月20日	15,177	－	98.3	0.0
	5月末	15,665	3.2	98.3	0.0
	(期末) 2026年6月22日	15,932	5.0	98.0	0.0
第 156 期	(期首) 2026年6月22日	15,882	－	98.0	0.0
	6月末	15,733	△0.9	98.0	0.0
	(期末) 2026年7月21日	15,959	0.5	98.2	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2026年1月21日～2026年7月21日

(1) 投資信託証券

	第151期～第156期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス	千口 1,009	千円 121,182	千口 3,901	千円 463,340

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第151期～第156期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 —	千円 —

(注) 当作成期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2026年1月21日～2026年7月21日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2026年7月21日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	第150期末	第156期末		
	口数	口数	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス	千口 49,195	千口 46,304	千円 5,879,249	% 98.2
合計	49,195	46,304	5,879,249	98.2

(注1) 比率は、当作成期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	第150期末	第156期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当作成期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は5,065,908千口です。

投資信託財産の構成

2026年7月21日現在

項目	第156期末	
	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千円 5,879,249	% 97.8
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	133,048	2.2
投資信託財産総額	6,012,308	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

	(2026年2月20日)	(2026年3月23日)	(2026年4月20日)	(2026年5月20日)	(2026年6月22日)	(2026年7月21日) 現在
項目	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末	第155期末	第156期末
(A) 資 産	5,631,235,649円	5,469,356,769円	5,797,029,221円	5,849,494,967円	6,080,032,610円	6,012,308,123円
コール・ローン等	136,313,550	137,191,714	123,500,383	142,655,014	145,238,182	133,048,652
NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・ オープン・クラス(評価額)	5,494,912,021	5,332,154,971	5,673,518,748	5,706,829,857	5,934,784,324	5,879,249,359
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	10,078	10,084	10,090	10,096	10,104	10,112
(B) 負 債	32,565,361	29,690,126	25,504,757	42,445,743	26,574,447	24,925,506
未払収益分配金	19,500,893	19,505,770	19,443,484	19,130,889	19,057,437	18,817,494
未払解約金	7,163,628	4,258,757	748,100	17,354,033	796,700	161,850
未払信託報酬	5,875,460	5,900,179	5,290,281	5,935,817	6,692,518	5,921,663
その他未払費用	25,380	25,420	22,892	25,004	27,792	24,499
(C) 純資産総額(A－B)	5,598,670,288	5,439,666,643	5,771,524,464	5,807,049,224	6,053,458,163	5,987,382,617
元 本	3,900,178,733	3,901,154,195	3,888,696,957	3,826,177,853	3,811,487,562	3,763,498,975
次期繰越損益金	1,698,491,555	1,538,512,448	1,882,827,507	1,980,871,371	2,241,970,601	2,223,883,642
(D) 受 益 権 総 口 数	3,900,178,733口	3,901,154,195口	3,888,696,957口	3,826,177,853口	3,811,487,562口	3,763,498,975口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,355円	13,944円	14,842円	15,177円	15,882円	15,909円

(注) 当作成期首元本額 3,958,024,733円
 当作成期中追加設定元本額 54,237,199円
 当作成期中一部解約元本額 248,762,957円

損益の状況

	(第151期 第152期 第153期)	2026年1月21日～2026年2月20日) 2026年2月21日～2026年3月23日) 2026年3月24日～2026年4月20日)	(第154期 第155期 第156期)	2026年4月21日～2026年5月20日) 2026年5月21日～2026年6月22日) 2026年6月23日～2026年7月21日)		
項目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
(A) 配 当 等 収 益	24,291,365円	2,480,128円	23,933,096円	23,714,752円	23,609,414円	23,162,839円
受 取 配 当 金	24,232,965	2,415,771	23,868,211	23,649,834	23,540,408	23,061,480
受 取 利 息	58,400	64,357	64,885	64,918	69,006	101,359
(B) 有価証券売買損益	140,562,996	△ 137,126,900	350,043,464	129,603,691	270,781,478	11,738,042
売 買 益	141,856,483	119,069	350,677,477	131,222,011	271,653,477	12,527,666
売 買 損	△ 1,293,487	△ 137,245,969	△ 634,013	△ 1,618,320	△ 871,999	△ 789,624
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,900,840	△ 5,925,599	△ 5,313,173	△ 5,960,821	△ 6,720,310	△ 5,946,162
(D) 当期損益金(A + B + C)	158,953,521	△ 140,572,371	368,663,387	147,357,622	287,670,582	28,954,719
(E) 前期繰越損益金	1,574,921,388	1,705,833,755	1,539,952,552	1,855,784,729	1,974,538,971	2,206,879,839
(分配準備積立金)	(1,574,921,388)	(1,705,833,755)	(1,679,997,189)	(1,855,784,729)	(1,974,538,971)	(2,206,879,839)
(繰越欠損金)	(-)	(-)	(△ 140,044,637)	(-)	(-)	(-)
(F) 追加信託差損益金*	△ 15,882,461	△ 7,243,166	△ 6,344,948	△ 3,140,091	△ 1,181,515	6,866,578
(配当等相当額)	(701,430,055)	(710,574,542)	(709,252,101)	(700,865,417)	(700,031,421)	(699,250,440)
(売買損益相当額)	(△ 717,312,516)	(△ 717,817,708)	(△ 715,597,049)	(△ 704,005,508)	(△ 701,212,936)	(△ 692,383,862)
(G) 合 計(D + E + F)	1,717,992,448	1,558,018,218	1,902,270,991	2,000,002,260	2,261,028,038	2,242,701,136
(H) 収 益 分 配 金	△ 19,500,893	△ 19,505,770	△ 19,443,484	△ 19,130,889	△ 19,057,437	△ 18,817,494
次期繰越損益金(G + H)	1,698,491,555	1,538,512,448	1,882,827,507	1,980,871,371	2,241,970,601	2,223,883,642
追加信託差損益金	△ 15,882,461	△ 7,243,166	△ 6,344,948	△ 3,140,091	△ 1,181,515	6,866,578
(配当等相当額)	(701,430,055)	(710,574,542)	(709,252,101)	(700,865,417)	(700,031,421)	(699,250,440)
(売買損益相当額)	(△ 717,312,516)	(△ 717,817,708)	(△ 715,597,049)	(△ 704,005,508)	(△ 701,212,936)	(△ 692,383,862)
分配準備積立金	1,714,374,016	1,686,327,985	1,889,172,455	1,984,011,462	2,243,152,116	2,217,017,064
繰越欠損金	-	△ 140,572,371	-	-	-	-

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
(a) 経費控除後の配当等収益	23,421,581円	0円	23,593,053円	22,792,613円	23,070,445円	19,216,371円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	135,531,940円	0円	205,025,697円	124,565,009円	264,600,137円	9,738,348円
(c) 信託約款に定める収益調整金	701,430,055円	710,574,542円	709,252,101円	700,865,417円	700,031,421円	699,250,440円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	1,574,921,388円	1,705,833,755円	1,679,997,189円	1,855,784,729円	1,974,538,971円	2,206,879,839円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	2,435,304,964円	2,416,408,297円	2,617,868,040円	2,704,007,768円	2,962,240,974円	2,935,084,998円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	6,244.09円	6,194.09円	6,731.99円	7,067.13円	7,771.88円	7,798.82円
(g) 分配金	19,500,893円	19,505,770円	19,443,484円	19,130,889円	19,057,437円	18,817,494円
(h) 分配金(1万口当たり)	50円	50円	50円	50円	50円	50円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円	%	%	百万円
22期（2024年7月22日）	22,973	0	17.1	22,973	98.4	0.0	2,948
23期（2025年1月20日）	23,855	0	3.8	23,855	98.0	0.0	2,940
24期（2025年7月22日）	25,349	0	6.3	25,349	98.1	0.0	2,939
25期（2026年1月20日）	30,420	0	20.0	30,420	98.3	0.0	3,278
26期（2026年7月21日）	35,287	0	16.0	35,287	98.0	0.0	3,504

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注4) 当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率
	円	%	%	%
(期首) 2026年1月20日	30,420	—	98.3	0.0
1月末	30,381	△ 0.1	98.0	0.0
2月末	32,273	6.1	98.2	0.0
3月末	30,290	△ 0.4	97.8	0.0
4月末	33,121	8.9	98.3	0.0
5月末	34,522	13.5	98.8	0.0
6月末	34,780	14.3	98.5	0.0
(期末) 2026年7月21日	35,287	16.0	98.0	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2026年1月21日～2026年7月21日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 593	千円 71,174	千口 2,630	千円 313,550

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 —	千円 —

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2026年1月21日～2026年7月21日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2026年7月21日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 29,083	千口 27,045	千円 3,434,002	% 98.0
合計	29,083	27,045	3,434,002	98.0

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は5,065,908千口です。

投資信託財産の構成

2026年7月21日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千円 3,434,002	% 97.4
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	91,397	2.6
投資信託財産総額	3,525,409	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年7月21日現在)

項目	当期末
(A) 資産	3,525,409,986円
コール・ローン等	91,397,319
N A M・グローバル・ハイデティビデンド・エクイティ・ファンドFX・オープン・クラス(評価額)	3,434,002,555
ニッセイマネーマーケットマザーファンド(評価額)	10,112
(B) 負債	21,007,605
未払解約金	138
未払信託報酬	20,900,332
その他未払費用	107,135
(C) 純資産総額(A-B)	3,504,402,381
元本	993,120,303
次期繰越損益金	2,511,282,078
(D) 受益権総口数	993,120,303口
1万口当たり基準価額(C/D)	35,287円
(注) 期首元本額	1,077,895,314円
期中追加設定元本額	4,812,973円
期中一部解約元本額	89,587,984円

損益の状況

当期 (2026年1月21日～2026年7月21日)

項目	当期
(A) 配当等収益	69,530,182円
受取配当金	69,285,181
受取利息	245,001
(B) 有価証券売買損益	434,525,039
売買益	453,100,197
売買損	△ 18,575,158
(C) 信託報酬等	△ 21,007,467
(D) 当期損益金(A+B+C)	483,047,754
(E) 前期繰越損益金(分配準備積立金)	1,821,372,933
(F) 追加信託差損益金*	206,861,391
(配当等相当額)	(288,085,326)
(売買損益相当額)	(△ 81,223,935)
(G) 合計(D+E+F)	2,511,282,078
次期繰越損益金(G)	2,511,282,078
追加信託差損益金	206,861,391
(配当等相当額)	(288,085,326)
(売買損益相当額)	(△ 81,223,935)
分配準備積立金	2,304,420,687

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	66,633,252円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	416,414,502円
(c) 信託約款に定める収益調整金	288,085,326円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	1,821,372,933円
(e) 分配対象額(a+b+c+d)	2,592,506,013円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	26,104.65円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

お知らせ

■各ファンドの約款変更

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」の合併に伴い関連条項に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)

運用者情報

■当社運用担当者情報について

・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認ください。

■ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）



<https://www.nam.co.jp/fundinfo/nskkf1/main.html>

■ニッセイ世界高配当株ファンド（年2回決算型）



<https://www.nam.co.jp/fundinfo/nskkf2/main.html>

各ファンドの概要

				毎月決算型	年2回決算型
商	品	分	類	追加型投信／内外／資産複合	
信	託	期	間	2013年7月23日～2028年7月20日	
運	用	方	針	外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート（不動産投資信託）等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ世界高配当株ファンド			「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	
	NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス			日本を含む各国の株式およびリート等	
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド			円建ての短期公社債および短期金融商品	
運	用	方	法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。	
分	配	方	針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、信託財産の成長に資することを目的に、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。

以下は、「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス」および「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス」（ケイマン籍外国投資信託証券）の2026年3月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。

同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

(1) 損益計算書（2025年4月1日～2026年3月31日）

＜NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス
／カレンシー・セレクト・クラス＞

	(円)
収益	
配当金	336,550,795
受取利息	1,745,296
外国為替取引益（損）	27,502,247
有価証券取引益（損）（評価損益を含む）	2,108,163,381
収益（損失）合計	2,473,961,719
費用	
管理事務代行報酬	7,206,820
管理報酬	40,413,307
年次規制手数料	1,280,223
名義書換代行報酬	2,639,789
信託報酬	2,380,542
監査報酬	4,915,961
外部専門家支払報酬	1,129,691
受託者報酬	3,002,827
取引費用	8,931,512
費用合計	71,900,672
税引前利益（損失）	2,402,061,047
源泉税	(56,628,066)
運用による買戻可能参加受益証券保有者に帰属する純資産の純増（減）（受益者に対する分配前）	2,345,432,981
受益者に対する分配	(462,196,150)
運用による買戻可能参加受益証券保有者に帰属する純資産の純増（減）	1,883,236,831

(2) 投資有価証券明細表 (2026年3月31日現在)
NAM GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY FUND

Description	Holding / Shares	Issue/ Settle Curr	Market Value (Base)
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANU	57,000.0000	TWD	499,216,242.00
DBS GROUP HOLDINGS LTD	61,570.0000	S GD	431,976,942.00
WILLIAMS COS INC	30,974.0000	U S D	358,620,382.00
BHP GROUP LTD	60,624.0000	AUD	332,844,123.00
NATIONAL GRID PLC	114,762.0000	GB P	305,622,738.00
BROADCOM INC	6,007.0000	U S D	295,772,601.00
MANULIFE FINANCIAL CORP	51,330.0000	CAD	280,407,387.00
DNB BANK ASA	56,967.0000	NOK	280,234,209.00
EOG RESOURCES INC	11,490.0000	U S D	264,255,377.00
VOLVO AB-B SHS	47,510.0000	S E K	242,389,863.00
ING GROEP NV	55,594.0000	EUR	225,280,544.00
IBERDROLA SA	60,910.0000	EUR	220,470,752.00
COCA-COLA CO/THE	18,077.0000	U S D	218,701,217.00
VEIDEKKE ASA	67,237.0000	NOK	206,886,456.00
SIEMENS AG-REG	5,427.0000	EUR	204,644,161.00
CME GROUP INC	4,316.0000	U S D	202,788,832.00
ASE TECHNOLOGY HOLDING CO	117,000.0000	TWD	191,259,237.00
RIO TINTO PLC	12,127.0000	GB P	176,651,747.00
VERIZON COMMUNICATIONS IN	21,715.0000	U S D	173,416,004.00
NOVARTIS AG-REG	7,149.0000	CHF	171,060,808.00
SHINHAN FINANCIAL GROUP L	17,381.0000	K RW	158,327,995.00
PHILIP MORRIS INTERNATION	5,799.0000	U S D	152,530,490.00
ROYAL BANK OF CANADA	5,746.0000	CAD	147,305,116.00
SWISS RE AG	5,289.0000	CHF	138,429,182.00
UNICREDIT SPA	12,363.0000	EUR	137,930,739.00
PFIZER INC	30,038.0000	U S D	134,181,839.00
APA GROUP	119,938.0000	AUD	130,026,487.00
ITAU UNIBANCO H-SPON PRF	92,735.0000	U S D	123,626,997.00
INTL BUSINESS MACHINES CO	3,180.0000	U S D	122,621,731.00
ARES CAPITAL CORP	42,186.0000	U S D	120,934,095.00
RURAL FUNDS GROUP	550,029.0000	AUD	120,457,430.00
BANCA GENERALI SPA	12,195.0000	EUR	113,790,192.00
REALTEK SEMICONDUCTOR COR	46,000.0000	TWD	109,417,531.00
GAZTRANSPORT ET TECHNIGA	2,810.0000	EUR	104,673,144.00
DHL GROUP	11,641.0000	EUR	95,496,746.00
SPARK NEW ZEALAND LTD	475,802.0000	NZD	89,382,897.00
MEDIATEK INC	12,000.0000	TWD	88,975,144.00
ELISA OYJ	10,227.0000	EUR	78,591,355.00
SWEDBANK AB - A SHARES	13,799.0000	S E K	73,488,662.00
MERCEDES-BENZ GROUP AG	7,637.0000	EUR	73,346,000.00
NATWEST GROUP PLC	59,114.0000	GB P	68,600,514.00
HYUNDAI MOTOR CO	1,448.0000	K RW	67,003,830.00
SHENZHOI INTERNATIONAL GR	70,300.0000	H KD	66,730,936.00
BANK MANDIRI PERSERO TBK	1,240,000.0000	I DR	54,789,605.00
NINE ENTERTAINMENT CO HOL	402,771.0000	AUD	41,690,178.00
SIMPLO TECHNOLOGY CO LTD	21,000.0000	TWD	34,798,836.00

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 29 期

(計算期間：2025年10月16日～2026年4月15日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・ 外貨建資産への投資は行いません。



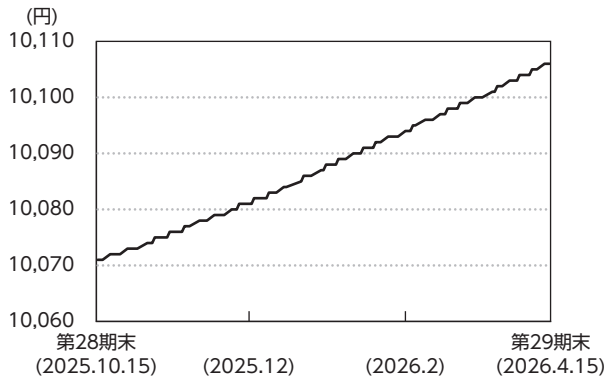
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2025年10月16日～2026年4月15日

基準価額等の推移



■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

お知らせ

■約款変更

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」の合併に伴い関連条項に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
25期 (2024年 4 月15日)	10,025	0.0	83.1	1,391
26期 (2024年10月15日)	10,028	0.0	92.2	1,375
27期 (2025年 4 月15日)	10,043	0.1	73.1	2,007
28期 (2025年10月15日)	10,071	0.3	75.5	2,053
29期 (2026年 4 月15日)	10,106	0.3	63.5	4,800

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2025年10月15日	10,071	—	75.5
10月末	10,073	0.0	74.8
11月末	10,078	0.1	79.6
12月末	10,084	0.1	70.8
2026年 1 月末	10,091	0.2	68.3
2 月末	10,096	0.2	68.5
3 月末	10,103	0.3	63.3
(期末)2026年 4 月15日	10,106	0.3	63.5

(注) 騰落率は期首比です。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

1万口当たりの費用明細

2025年10月16日～2026年4月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－％	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(10,088円)で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2025年10月16日～2026年4月15日

公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 1,865,937	千円 － (557,000)
	特殊債券	181,642	－

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2025年10月16日～2026年4月15日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第1回 東京都公募公債(東京ソーシャルボンド(5年))	498,120	—	—
令和3年度第6回 埼玉県公募公債(5年)	497,630		
平成28年度第4回 京都市公募公債	298,041		
第760回 東京都公募公債	286,297		
平成28年度第1回 静岡市公募公債	285,848		
第291回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	181,642		

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2026年4月15日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	額面金額	評価額	組入比率	当期末			
				うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
地方債証券	2,875,000 (2,875,000)	2,868,386 (2,868,386)	59.8 (59.8)	—	—	—	59.8 (59.8)
特殊債券 (除く金融債券)	183,000 (183,000)	182,220 (182,220)	3.8 (3.8)	—	—	—	3.8 (3.8)
合計	3,058,000 (3,058,000)	3,050,606 (3,050,606)	63.5 (63.5)	—	—	—	63.5 (63.5)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第756回 東京都公募公債	0.0500	2026/ 6 /19	182,000	181,821
	第760回 東京都公募公債	0.0450	2026/ 9 /18	288,000	287,005
	第1回 東京都公募公債(東京ソーシャルボンド(5年))	0.0050	2026/ 6 /19	500,000	499,305
	平成28年度第5回 愛知県公募公債	0.0700	2026/ 6 /29	182,000	181,792
	平成28年度第1回 広島県公募公債	0.0800	2026/ 5 /25	181,000	180,885
	令和3年度第6回 埼玉県公募公債(5年)	0.0050	2026/ 7 /28	500,000	498,853
	第158回 共同発行市場公募地方債	0.0800	2026/ 5 /25	182,000	181,883
	第160回 共同発行市場公募地方債	0.0500	2026/ 7 /24	272,000	271,516
	平成28年度第1回 静岡市公募公債	0.0600	2026/11/25	288,000	286,561
	平成28年度第4回 京都市公募公債	0.0700	2026/10/23	300,000	298,760
	小計	—	—	—	2,868,386
特殊債券 (除く金融債券)	第291回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.0050	2026/10/30	183,000	182,220
	小計	—	—	—	182,220
	合計	—	—	—	3,050,606

投資信託財産の構成

2026年4月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	3,050,606	63.3
コール・ローン等、その他	1,766,379	36.7
投資信託財産総額	4,816,986	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年4月15日現在)

項目	当期末
(A)資産	4,816,986,155円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,766,041,463
公 社 債 (評価額)	3,050,606,642
未 収 利 息	284,533
前 払 費 用	53,517
(B)負債	16,465,227
未 払 解 約 金	16,465,227
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	4,800,520,928
元 本	4,750,142,861
次 期 繰 越 損 益 金	50,378,067
(D)受 益 権 総 口 数	4,750,142,861口
1万口当たり基準価額 (C / D)	10,106円

- (注1) 期首元本額 2,038,753,014円
 期中追加設定元本額 3,167,158,192円
 期中一部解約元本額 455,768,345円

- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス (毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド (適格機関投資家限定)	49,754,738円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (毎月決算型)	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド (毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド (年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド (毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド (年2回決算型)	9,984円
J P X日経400アクティブ・オープンミドル投資型	9,976円
J P X日経400アクティブ・プレミアム・オープン (毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン (毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン (年2回決算型)	9,974円
ニッセイA I 関連株式ファンド (為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイA I 関連株式ファンド (為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (資産成長型)	9,968円
D Cニッセイターゲットデットファンド2035	466,742,032円
D Cニッセイターゲットデットファンド2025	2,683,450,997円
ニッセイ/コムジェスト新興国成長株ファンド (資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジェスト新興国成長株ファンド (年2回決算型)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
D Cニッセイターゲットデットファンド2030	1,549,776,508円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド (予想分配金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド (資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド (予想分配金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド (資産成長型)	9,972円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2023-02 (為替ヘッジあり・限定創設型)	9,974円
限定創設型・最上乗額限定ニッセイ世界1カ国1株式厳選ファンド2023-07 (為替ヘッジあり)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド (資産成長型)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド (毎月決算型)	9,975円
ニッセイS & P 500リカバリー戦略株式ファンド	9,973円
ニッセイ・インド中小型株式ファンド	9,969円
ニッセイ・インド株式ファンド<購入・換金手数料なし>	9,964円
ニッセイ・インド株式オープン (資産成長型)	9,939円
ニッセイ・インド株式オープン (3ヵ月決算型)	9,939円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2025-09 (為替ヘッジなし・限定創設型)	9,934円
ニッセイ米国株式ブースト戦略ファンド (毎月決算・予想分配金提示型)	9,910円
ニッセイ米国株式ブースト戦略ファンド<為替リスク限定型> (毎月決算・予想分配金提示型)	9,910円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2026-03 (為替ヘッジなし・限定創設型)	9,901円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

損益の状況

当期 (2025年10月16日～2026年4月15日)

項目	当期
(A)配 当 等 収 益	4,472,125円
受 取 利 息	4,472,125
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	8,863,414
売 買 益	8,863,414
(C)当 期 損 益 金 (A + B)	13,335,539
(D)前 期 繰 越 損 益 金	14,433,829
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	26,792,804
(F)解 約 差 損 益 金	△ 4,184,105
(G)合 計 (C + D + E + F)	50,378,067
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	50,378,067

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

- (注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

- (注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。